

研究・調査報告書

報告書番号	担当
418	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
The amount of alcohol consumption negatively impacts short-term mortality in Mexican patients with alcoholic hepatitis. メキシコ人のアルコール性肝炎患者において、アルコール摂取量は短期間の死亡率と負に関連する	
執筆者	
Altamirano J, Higuera-de laTijera F, Duarte-Rojo A, Martínez-Vázquez MA, Abraldes JG, Herrera-Jiménez LE, Michelena J, Zapata L, Perez-Hernández J, Torre A, González-González JA, Cardenas A, Dominguez M, Arroyo V, Ginès P, Caballería J, Bataller R	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Gastroenterol. 2011 Aug;106(8):1472-80.	
キーワード	
アルコール性肝炎, ABIC スコア, 予後因子, メキシコ人	
要 旨	
目的： メキシコ人におけるアルコール依存症患者とアルコール性肝炎患者割合は増加しているがメキシコ人のアルコール性肝炎(AH)の重症度に影響を及ぼす要因はまだ明らかにされていない。そこで本研究は、メキシコ人のアルコール性肝炎患者の短期間の死亡の予後因子を明らかにし、予後モデルの存在を検証することを目的とした。	
方法： 対象はメキシコにある4つの病院から集められたアルコール性肝炎患者 175 人で属性、臨床情報、生化学検査結果を入院時に取得した。一変量または多変量ロジスティック回帰分析により予後因子を同定した。異なるモデルの精度は AUROC (ROC 曲線下の面積) により評価し、比較リスク評価にはカプランマイヤー法を用いた。	
結果： 年齢、血清クレアチニン、血清ビリルビン、白血球数および1日 120g を超えるアルコール摂取量は短期間の死亡率と独立して関連していた。アルコール摂取の影響は重篤なアルコール性肝炎患者において顕著だった (48% 対 72% 死亡危険, P=0.03)。異なるスコアの AUROC は Maddrey's 判別スコア 0.79 (0.72-0.86)、末期肝疾患モデル(MELD) 0.83 (0.75-0.89)、グラスゴーアルコール性肝炎スコア 0.77 (0.70-0.84)、年齢ビリルビン国際標準比クレアチニン(ABIC) スコア 0.82 (0.75-0.88)だった。ABIC スコアは異なるリスクのサブグループで 90 日間の死亡率は 13%, 50%, 81%だった。	
結論： メキシコ人のアルコール性肝炎患者において、アルコール摂取量は短期間の死亡率と負に関連した。また ABIC スコアは有用で、患者の予後の層化のための MELD スコアと比較可能である。	